

＜弊社における新型コロナウイルス感染症に対するガイドライン＞

1. はじめに

農水省からは食料品その他生活必需品の流通を担う食品卸売業は、国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者であり、人員や物的資源を確保し、業務を継続することが求められる等エッセンシャルワーカーとしての方針が示されています。

2. 基本的考え方

新型コロナウイルス感染症に対する弊社の取り組みと対応につきましては農林水産省の指針、日水物流株式会社東京物流センター（弊社が賃借し営業）のガイドライン並びに所管の保健所の見解に沿ったもので作成をしております。

3. 具体的な取り組み

【本社 及び 横浜営業所】

1)出勤時間と退社時間の変更（※社員の申告により対応）

弊社として通勤ラッシュを避ける為に3つの時間帯を設けている

9：30～18：00 勤務、8：30～16：30 勤務、10：30～19：00 勤務

2)感染予防対策

①館内に入る際は1階エントランスにて1度目のアルコール消毒を行う。

②女性社員は制服に着替え、男性社員はそのままトイレに行き20秒間

液体の弱酸性石鹼で手洗いし使い捨てのペーパータオルで拭き取る。

（非接触型のタイマーで時間チェック）

③常備してあるうがい薬を非接触型の入れ物から使い捨ての紙コップを取り出し最低5回うがいをする。

④体温チェックシートに体温を記入する。

⑤各フロアーの入室時には、入口に設置した足踏み式アルコール消毒器によるアルコール消毒を義務付けている。

（違うフロアー、違う階に行った場合にエレベーター、階段にて手すりや触った者は再度、入室時のアルコール消毒を義務化している。）

⑥社員のデスク全席に飛沫防止用のパーティションを設置し社内感染の防止策としている。

⑦休憩室（食堂）に関しては感染リスクが比較的高いと考えられるため、

一度に休憩・食事する人数を減らし、換気のうへ対面での食事や会話は禁止している。

- ⑧更衣室の管理については多くの社員が利用するため、一度に入室する人数を減らし、密着・密接を防ぐ。また、換気扇は最終退社時まで稼働させたいえ、窓やドアを定期的にかける等、室内の換気に努める。

3)換気・清掃・消毒

常に各フロア、階段等の窓は開放し換気を行う。清掃、消毒に関しては早朝に清掃業社が入っておりドアノブ、階段の手すり、エレベーター内のスイッチ等はアルコール消毒をしている。又、場合によっては社員でアルコール消毒を行う場合もある。

休憩室(食堂)での共有するテーブルなどは使用前、使用後にアルコール消毒を各自で行う。

4)その他、社員への対応

社員による体温の測定と記録の実施。又、下記の場合は所属長へ連絡をし自宅待機の徹底

- ①発熱などの症状がある場合、及び同居者に同じ症状がある場合
- ②新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がある場合
- ③通勤用と社内用のマスクを別にしよう徹底
- ④8月1日から当面の間、通常の有給休暇とは別枠で「新型コロナウイルス対策休暇」を制定し、今まで以上に社員の健康管理を支援することとした。

5)感染者が発生した場合

社員より感染者が発生した場合は直ちに会社へ連絡をさせる。

又、会社の対応としては会社の所在地を所管する保健所へ連絡をし保健所の指導、指示に従って対応をする。

保健所の指示等により万が一、消毒等の対応をする為一時的に事務所が使えなくなる場合は弊社の営業所、子会社にて業務を遂行する。

【物流センターでの対応】

- 1)出勤時間と退社時間に関しては、本社、横浜営業所等複数の拠点から出庫データが流れる為、現状時差出勤としている。また、時間帯については通勤ラッシュと重ならない為、現状は新型コロナウイルス感染症対策としての時間は特に設けていない。(10:00~18:30勤務)

2)感染予防対策

- ①日水物流株式会社事務棟内の弊社更衣室に入室前に、1度目のアルコール消毒を行う。
- ②着替えた後、倉庫棟(2階)の入口にて2回目のアルコール消毒を行う。
- ③そのままトイレに行き20秒間液体の弱酸性石鹼で手洗いし使い捨てのペーパータオルで拭き取る。
(非接触型のタイマーで時間チェック)
- ④常備してあるうがい薬を非接触型の入れ物から使い捨ての紙コップを取り出し最低5回うがいをする。
- ⑤体温チェックシートに体温を記入する。
- ⑥各ピッキングルームの入口に足踏み式アルコール消毒器を設置し入室時のアルコール消毒を義務付けている。
- ⑦休憩室(食堂)、更衣室に関しては本社、横浜営業所と同じ管理にて対応をしている。(※上記記載)

3)換気・清掃・消毒

- ①倉庫では窓等が少なく換気の悪い密閉空間ではあるが倉庫内は定温での温度管理がされており換気設備を適切に運転・管理し室内の換気に努めている。又、作業室内は大型の噴霧器にて電解水を定期的に噴霧している。
尚、所管の保健所の見解は、「密閉空間であるが天井も高く勤務環境は所謂3密には当たらないのでは」とのこと。
- ②休憩室(食堂)については日水物流株式会社との共同スペースのため感染リスクを抑えるため、時間をずらす事で対応し、対面での食事、会話を禁止している。

4)その他、社員への対応

- ①上記の件については本社、横浜営業所と同じ条件にて対応する。
- ②配送で使用した通箱、折りたたみコンテナについては洗浄後に噴霧器によりアルコール消毒を行っている。

5)感染者が発生した場合

- ①弊社では日本水産の建物内での作業を行っている為、弊社社員、日本水産社員から感染者が発生した場合には直ちに情報を共有し感染増加を防ぐ対応を取ることとする。また、速やかに所管の保健所へ連絡をし保健所の指導、指示にしたがって対応する。

②消毒作業については保健所から業社のリストを提供して貰える場合もあるが、日本水産と協議をし自ら指導手順に沿って消毒作業を実施する場合もある。

(消毒薬は次亜塩素酸ナトリウム 0.05%か消毒用エタノール、消毒箇所は東京都感染症情報センターの指針を参考とする。)

【運送会社】

1)感染予防対策

運送会社から弊社に対し、新型コロナウイルス感染症への対策マニュアルの提出はなされている。(要旨は下記)

- ①出勤前に体温の計測を行う。又、可能であれば帰宅後の検温も行う。
- ②終日マスクの着用 及び十分な手洗いとアルコール消毒を心がける。
- ③出勤前に 37.5℃以上の熱があった場合は自身で判断せず、即座に会社の責任者へ連絡し指示を仰ぐ。又、感染が疑われる場合は自宅待機を行い、コロナ感染症の指定機関へ連絡し指示を仰いだ後、会社責任者へ報告を行う事とする。(同居する家族も感染の疑いがある場合も同様)

2)弊社との対応

弊社倉庫(日水物流株式会社東京物流センター)に着車時から出発までの流れ

- ①上記センター事務所棟内にある運送会社の事務所へ行き、体温の計測、アルコールチェックを行う、又、積み込み準備の為、倉庫棟(2階)の弊社入り口にて再度アルコール消毒を行い弊社事務所に積み込みリスト、納品書をチェックし、積み込み、出発となる。
- ②ドライバーには納品時のマスク着用を義務化し、納品先でのアルコール消毒がある場合にはアルコール消毒をするよう指示している。

以上

大京食品株式会社

